

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	ことばの教室ことのは5号館		
○保護者評価実施期間	令和 8年 2月 5日	～	令和 8年 2月 28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	62	(回答者数) 58
○従業者評価実施期間	令和 8年 2月 2日	～	令和 8年 2月 5日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	12	(回答者数) 12
○事業者向け自己評価表作成日	令和 8年 3月 2日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	多職種連携による専門性の高い支援体制 専門職が多く在籍している環境から、支援後の情報共有の質が高く、多角的な視点での児童の評価が行えています。	理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、保育士等の専門職を各チームに配置し、多角的な視点から支援方針を検討しています。昼礼・終礼でのチーム別ミーティングを徹底し、迅速な情報共有と支援の統一を図っています。	チームビルディングをさらに強化し、職種間の相互理解を深めてまいりたいと思います。インリアルアプローチや感覚統合理論、正常発達に関する勉強会を定期開催し、専門知識のさらなる底上げを図ってまいります。
2	児童の主体性を尊重した環境設定と構造化 児童の特性や年齢に応じた療育設定ができています。	「こどもの想いに寄り添い言葉の葉を育む」という理念に基づき、児童の特性に合わせて屋内・屋外の活動場所を分けるなど、安全で分かりやすい環境を構築しております。児童が自ら選択し、挑戦できる空間作りを意識し日々の支援での療育提供を行っております。	バリアフリーの観点から、駐車場の舗装や足元の安全対策など、環境面のさらなる改善を検討していきたいと思っています。個別のニーズに応じた環境設定を定期的に見直し、児童がより安心して活動できる場を整えてまいります。
3	保護者との強固な信頼関係とニーズの反映 日常の支援を終えた後は、直接保護者の方とお話を行っております。その際に保護者の方の不安を聞いたり、成長の共有などを行っております。	対面での申し送り、電話、公式LINEなど多面的な連絡手段を用い、日々の様子を詳細に共有しています。アセスメントに基づき、保護者の意向を適切に汲み取った個別支援計画の作成と説明を徹底しております。	従来の個別相談に加え、保護者同士が繋がりを持てるワークショップや交流会の枠組みを新たに構築したいと検討しております。SNSでの発信を強化し、事業所の透明性をより高めることで、さらなる安心感の提供に努めてまいります。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域社会との接点および交流機会の不足 地域住民や他施設の子どもたちと触れ合う機会が十分に確保されておらず、支援が事業所内で完結する傾向にあります。	個別療育や専門的訓練に重点を置くあまり、地域行事への参画や外部機関との交流を具体的に計画・立案する体制が不十分であったと思います。	次年度の年間計画に地域イベントへの参画や近隣施設との合同活動を明文化してまいりたいと思います。公共施設の利用頻度を上げるとともに、地域の児童発達支援センター等から助言を受ける機会を増やしてまいりたいと思います。
2	家族支援プログラム(集団的支援)の未確立 日々の相談対応は行えているが、保護者同士の交流会や、家庭での療育を支えるペアレント・トレーニング等の実施に至っていない状況です。	送迎時などの個別対応にリソースが集中し、集団を対象としたイベントや学習会を組織的に企画・運営する体制が整っていなかったかと振り返ります。	専門職が講師を務める保護者向け勉強会やワークショップを定期開催したいと思います。児童本人だけでなく、保護者やきょうだい児も含めた家族全体を支える支援メニューを拡充し、周知を徹底したいと検討しております。
3	情報発信の周知不足とスタッフ間の連携格差 避難訓練や安全計画の内容が保護者に十分に伝わりきっていない現状にあるかと感じます。また、スタッフ間でも専門性の違いにより課題解決のスピードに差が生じることがあると思います。	SNS等の情報発信が不定期であり、安全対策等の可視化が後回しになっていたように思います。また、多忙により職種間で議論を深めるための固定時間が不足していたように思います。	情報発信担当を明確にし、「事業所定期便」の発行やSNSでの報告を定例化していきたいと思っています。事務作業の効率化(システム化)を進めてスタッフの対話時間を確保し、定例カンファレンスを通じて支援の質を均一化してまいりたいと思います。